

ふれあいのまち



# 松原かわら版

世帯数 1,287 戸  
人口 2,976 人  
高齢化率(65歳以上) 29.8%  
(令和6年12月1日現在)

## 新年のごあいさつ

松原地区町会連合会会長

鈴木 喜一郎

新年あけましておめでとございます。町会の皆さまにおかれましては、ご家族そろって新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、連合会の諸行事や運営に大勢の皆さまの深いご理解と温かいご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和六年度は、前年に取りまとめた住民意識アンケートの結果を踏まえ、地区の行事や組織などを役員皆で会議を重ね仕上げし、少しでも役員の方の負担軽減や町会への新規加入拡大を目指し検討してきました。本年度、次年度にかけて可能なものからできる範囲で実施できるよう役員で検討しています。

昨年夏に実施された「松原いづら祭」は、熱中症対策として開催時間をずらして実施しましたが、それでも暑さは厳しく

出店の皆さまには過酷な環境下での販売、本当にありがとうございます。そんな暑さの中でも、とてもたくさんの子どもたちが参加してくれたことが印象深く感じました。

昨年元旦には、能登半島の大きな地震があり、被災地ではお正月から復旧作業に追われることになり、改めて災害の怖さを感じました。そのことも踏まえ、十一月には六年ぶりとなる地区防災避難訓練を明善中学校体育館と地区公民館にて実施し、要援護者避難訓練や体育館での避難所開設訓練など緊急時の対応方法を体験することができました。

町会連合会は、地区の皆さまのご協力と信頼関係さらにも思いやりの気持ちが大事だと思えます。松原地区は結束がとて強い地区だと思えます。本年も町会連合会の運営につきましてご支援とご協力をお願いし、会員皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 2024年松原地区

# 総合防災訓練報告

松原地区町会連合会事務局長

新保 俊尚

11月9日(土) 8時から、最低気温6度とかなり寒い曇り空の下、コロナ禍を乗り越え6年ぶりの本格的な総合防災訓練を実施することができました。

訓練は、第1部として災害時緊急放送に伴う班別安否確認に始まり、町会別安否確認訓練および一時集合場所での町会別訓練、第2部では指定避難所における避難所運営訓練を実施しました。

第1部では、松原地区のほぼ全町会員世帯に参加していただき、ある程度スムーズな安否確認ができました。一時集合場所での町会別訓練では、簡易トイレの組立・使用訓練、発電機の始動と照明点灯訓練を実施したところが多かったようです。

第2部で、6年前と大きく異なる点は、地区公民館を避難行動要援護者優先の指定避難所として明善中学校の指定避難所と並行して開設したことです。公民館には避難者22名、活動班22名計44名が参加、中学校には、避難者120名

活動班41名計161名が参加してくださいました。

避難所運営訓練のメインは、①非常用トイレ組立および模擬使用訓練

②ダンボールベッド組立およびパターションを使ったコロナ対応レイアウト作成訓練  
③アルファ米による炊出し訓練です。

避難者からは、簡易トイレは実際に水を入れて固めるところまでやったのでイメージがわいた、トイレのゴミがたぐさん出て大変、ビニールの紐が縛りにくい、ダンボールベッドは思ったより丈夫だった、ダンボールに毛布では固いのでは、避難経路の危険箇所マップが必要、悪天候時の

対応、夜間・平日昼間の対応検討が必要等の意見がありました。

活動班からは、炊出しが個別包装なので人数が多いとかなり手間がかかる、簡易トイレ用のパズルが必須、衛生面からアルコール消毒・除菌ティッシュ等が必要等の意見が出されました。

公民館避難所からは、受付名簿で要援護者と付添人の両方の氏名を記入する欄が必要との指摘がありました。



# まつばらのできごと

12/18 じょうきょう 貞享騒動から学ぶ

1686(貞享3)年に起こった農民一揆「貞享騒動(加助騒動)」を松本市・安曇野市の関連スポットを巡り、講師のお話を伺いながら学びました。

## 『松原地区人権啓発推進協議会人権啓発研修』

11/27 無言館

日中戦争、太平洋戦争に動員されて命を落とした画学生たちの遺作を見学してきました。戦没した画学生、作品を守ってきたご遺族の方、作品を収集・展示しようとした方、多くの人の思いが詰まった作品たちから、今の平和が当たり前ではないことを教わりました。



▼鈴木伊織の墓所「伊織霊水」



▼駒町馬頭観世音



▼貞享義民塚



▼貞享義民記念館(安曇野市)



11/28 音の花束コンサート

内田公民館・寿台公民館・松原地区公民館共催で

「音の花束コンサート」を明善中学校で開催しました。各地区の行事で、ボランティアとして活躍していただいている中学生へ、お礼として開催したもので、長野県警察音楽隊と松本警察署の方をお招きして演奏・講話をしていただきました。



12/24 まつばら子ども食堂

松原地区町会連合会からの補助、いづら祭の焼きそばブースの売り上げの一部を利用して、松原地区公民館で子ども食堂を開きました。

今回のメニューは「豚汁・おにぎり・白菜塩昆布・スイートポテト・クッキー」です。食材の一部は地元の方からいただいたものを使用させていただき、当日は多くの子どもが集まり大変にぎわいました。



▲食堂の様子



▲お手伝いしてくれた中学生

放課後子ども教室では、家庭の諸事情により面倒がみられないお子さんを、下校から午後5時までの間、町内公民館にて、宿題をしたり、遊んだりして保護者の方を迎えに来るま

### 放課後子ども教室

放課後子ども教室では、家庭の諸事情により面倒がみられないお子さんを、下校から午後5時までの間、町内公民館にて、宿題をしたり、遊んだりして保護者の方を迎えに来るま



原地区公民館に登録の申し込みをお願ひします。また、新年度の児童の利用登録も受け付けますので、お気軽に申し込みしてください。

で、放課後子ども教室の運営スタッフが、児童の見守りをします。利用を希望される方は、松原地区公民館に登録の申し込みをお願ひします。また、新年度の児童の利用登録も受け付けますので、お気軽に申し込みしてください。



▲スポーツ協会会長挨拶



▲大会競技説明

松原スポーツ協会の午前中はチームに分かれての団体戦。午後はランダムにダブルスのペアを決めて交流試合を行いました。ソフトバレーボールは13チームが参加。リーグ戦を突破したチームで決勝トーナメントを行いました。

松原スポーツ協会の午前中はチームに分かれての団体戦。午後はランダムにダブルスのペアを決めて交流試合を行いました。ソフトバレーボールは13チームが参加。リーグ戦を突破したチームで決勝トーナメントを行いました。

### 松原スポーツ協会杯



▼バドミントン



▼ソフトバレーボール

松原スポーツ協会会長の田中昌絵さんは「初めて企画した大会でしたが、松原スポーツクラブの方と協力して実現できて嬉しい。参加者の皆さんが楽しんでる姿を見て開催して本当に良かったと思います。」と笑顔で話されています。参加者からは「とても楽しい大会だった。来年も是非、開催してほしい。」との感想がありました。

(編集委員)

新年になり、初場所が終わったところだが、大相撲が好きだ。立合の瞬間のスピード、一瞬で攻守が変わる駆け引きがたまらない。場所が終わると寂しい。次の場所が待ち遠しい。幼い頃からテレビでなんとなく見ていたが、こんなにめり込んだきっかけはというと、御嶽海である。豪快な押しであつという間に相手を土俵の外に出す。上位相手に強い反面、下位にあつさり負けたりする。関脇にずっといたり、優勝もしたりする。ついには大関にも上がったが、すぐに平幕に落ちてしまった。目が離せなかった。毎場所、幕下辺りから配信で取組を見る。出不精なわたしが、荒汐部屋の合宿を見に出掛けたり、松本の地方巡業にも行った。今の夢はいつか本場所を観戦したいということである。知れば知るほど好きな力士が増え、好きな力士はと問われてもなかなか絞れない。力士の皆さまにはどうか怪我のないようにと祈りながら、頑張っている姿を見せてほしいと願っている。(編集委員)